

## 2019年度休眠預金活動事業

### 【中間評価】点検検証報告書

日付: 2021年xx月xx日

点検・検証の目的: 成果評価の客観性・妥当性を確認し、その評価結果の有効活用を促します。

事業名	
資金分配団体	
実行団体	

#### 総括(500字以内)

※別添: 論点でのディスカッション内容を元に箇条書きで記載してください。当欄が外部への公開情報となります。

## 2019年度休眠預金活動事業

### 【中間評価】点検検証報告書

日付: 2021年xx月xx日

点検・検証の目的: 成果評価の客観性・妥当性を確認し、その評価結果の有効活用を促します。

事業名	
資金分配団体	
実行団体	

※以下の論点について、ディスカッションした内容を元に箇条書きで記載してください。(以下は非公開項目となります)

#### 1: 事業の実施過程を、適切に評価できているか

#### 2: 事業改善のために、直面している課題について明らかになっているか

#### 3: 事業実施状況について、工夫や成果が出ている部分について明らかになっているか

#### 4: 2,3および課題の解決や最終受益者への影響、必要なコストという視点から改めて振り返ると、現在実施している事業は効率的な設計・実行 であると判断できるか

#### 5: 中間評価によって事業の総合的な見直しを行なうべきかを検討しているか

#### 5: これらを検討するにあたっての情報やデータ、知見の収集・共有する方法は整理されているか(収集方法・共有状況など)

【中間評価】点検検証フォーム  
確認すべき論点/問いのイメージ

日付: 2021年xx月xx日

No.	大論点	確認ポイント	問いのイメージ（サンプル）
1	事業の実施過程を適切に評価できているか	進捗の全体について、データ等、何をもって把握しているのか、その設定は妥当か	・進捗を「XX」と判断した1番大きな要素はどの部分ですか？ ・それはどのようなものから比較判断していますか？ ・どういう点から、一番大きな要素だととらえていますか？
2		前項のディスカッションに基づくと、事業の進捗状況を改めて確認するかどうか	・改めて、モニタリング指標（事業の進捗を端的に示すような、キーとなる指標）を選ぶとしたらどの指標がいいと思いますか？ ・その指標からみると、今の進捗はいかがでしょうか？
3		短期アウトカムの進捗状況は客観的に確認できているか	・XXX（課題を取り巻く別の関係者）としては、最近の変化についてどんな感想をいっていますか？ ・よりよく変化を把握するためには、どんな視点が必要だと思いますか？
4		事業で直面している課題や促進要因など、重要な点が評価されているか（データを集めて記載しているだけでなく、解釈&仮説構築をしているか）	・事業を進める上で、ここが止まるとまずい、このせいで進まない、などのポイントはどこでしょうか？ ・この数値が語る意味は何でしょうか？ ・その進捗を支えている部分はどの辺ですか？なぜここはうまく進んでいますか？
5	事業改善のために、直面している課題について明らかにしているか	事業を改善すべき要素（課題の変化や、受益者に対する打ち手の制さり具合、プロセス上想定していなかった難所や現在のボトルネックなど）等、外的課題の把握は十分かつ適切か	・事業上で、ここがボトルネックになっている、と感じる部分はありますか？ ・受益者のニーズって、当初と比較してどうでしたか？なにか印象に残っている声などはありますか？受益者たちのおかれている状況は変化しましたか？ ・実際にやってみて、進めていくうえで想定しなかった難所はありますか？
6		事業実施上の組織内リソースの状況や、改善に対する組織・関係団体等の反応（抵抗）の把握等、内的課題の把握は十分かつ適切か	・なにかやっていく中で、障壁として見えてきた、といった部分で気づくところはありませんか？（XX（別の関係者）の視点はどうでしょうかを繰り返す） ・組織内で、実行上の障壁となっている部分などはありますか？
7		新しく把握できた事項により、課題や事業設計に及ぼす変化はないか	・事業上、これらへの対策として組み込む部分はありそうですか？ ・これらの変化に対して、事業上のアプローチで何か変えていく必要がありますか？このままで進めて行けそうですか？
8	事業実施状況について、工夫や成果が出ている部分について明らかにしているか	想定の有無に限らず、成果を生み出している部分は把握できているか	・なにか予定を超える成果や、想定していなかったけどいい効果がでているな、といった部分で気づくところはありますか？
9		上記の要因は把握できているか	・それは、何がきいたと思いますか？（どんなニーズが眠ってましたか？）
10		新しく把握できた事項により、課題や事業設計に及ぼす変化はないか	・事業になにか積極的に組み込んでいく部分はありそうですか？
11	上記および課題の解決や最終受益者への影響という視点から改めて振り返ると、事業は効率的な設計・実行であると判断できるか	直接事業について、支援の深さや広さやコスト等を比較して、効率的なアプローチだと判断できる材料があるか（一人当たりの受益者に対するコストや、類似事業の事業経費との比較等）	・今の受益者数に対して、一人当たりのコストはいくらくらいでしょうか？その効果はどう感じますか？ ・投入したコスト（資金・人的リソース等含）に対して、反応や効果はいかがですか？ ・ほかに何か効率的なアプローチがありそうですか？
12		事業遂行の管理について、効率性という観点から比較検証を行っているか（類似規模事業との比較等）	・同様の受益者をサポートしている団体はほかにありますか？そこはどんな事業実施方法をしていますか？取り入れたい部分はありますか？
13	評価関連経費は、評価の質を担保するためにどのような意図で活用しているか。自団体や関連団体の評価のキャパシティへのつながりはどうか	評価関連経費は、評価の質を担保するためにどのような意図で活用しているか。自団体や関連団体の評価のキャパシティへのつながりはどうか	・評価関連経費を検討する上でカ点に置いた部分はどの辺ですか？ ・自団体内や、関連団体の評価の知見の変化はいかがですか？次年度は独り立ちしたり、自己評価の実施方法の変更など実施していく計画などがありますか？ ・評価実施上の課題はどのあたりにありそうでしょうか？どのあたりへのアプローチはどのようにできそうでしょうか？
14		課題全体の状況について、外部環境的視点から把握されているか（事前評価見直し）	・ここまでの振り返り、今の事業のアプローチをみるとどうでしょう？もし半年前に戻るとしたら、どんな設計をしますか？ ・違う事業でアプローチをするとしたら、どんな方法をとりますか？
15	中間評価の結果に基づき、事業自体の全体的な見直しを行なうべきかどうかを検討しているか	ここまでの事業進捗や解決までに見据えた道筋に対して実行をしていくための出口戦略が検討されているか	・（狙っているアウトカムや社会課題の解決した状況を踏まえて）次のアウトカムや事業（継続・新規含）を実施していくためのアプローチ（資金やほかの方法）はどのように考えていますか？
16	これらを検討するにあたっての情報やデータ、知見の収集・共有する方法は整理されているか（収集方法・共有状況など）	同左	・団体内で得られた知見はどのように共有保存するようにしていますか？